

浜松観光ボランティアガイドの会

研修部主催「浜松市の産業と農業」

6月18日10時から12時まで、浜松市産業部の講師による標題の座学が、浜松市市民協働センターにて当会会員57名を対象に開催されました。

講義は、前半は産業総務課副主幹の森田哲司氏から「浜松の産業（商工業）」について、後半は、農業水産課課長補佐の前野隆典氏から「浜松の農林水産業」について行われました。

前半は、産業について(1)定義・区分(2)身近のところから(3)支援の必要性(4)変遷(5)地域の創業者(6)世界初・日本初(7)世界一・日本一等を説明、次に統計から見た市の概要を(1)都市別ランキング(2)産業構造(3)事業所の状況(4)製造品出荷額等で説明、工業については、「浜松産業イノベーション構想」について資料(ダイジェスト版)に沿ってご説明を頂きました。



前半講義の様子

尚、将来予測として講談社出版(河合雅司著)の「未来の年表」より興味あるお話しを頂きました。全般で、印象に残った説明を記します。

- ・産業を表現している身近なものとしては、五円玉にデザインされている「稲穂」は農業を、「波」は漁業を、中央円の周囲「歯車」は、工業を表しています。
- ・地域の創業者としては、浜松のDNA「やらまいか精神」を發揮して創業した山葉寅楠(ヤマハ)、河合小市(カワイ)、鈴木道夫(スズキ)、本田宗一郎(ホンダ)、川上源一(ヤマハ発動機)等が挙げられます。
- ・世界初のものとしては、電子式テレビ実験成功、胃カメラが、日本初のものとしては、軽自動車、国産ピアノ、木工機械、国産旅客機、四面舞台(アクト大ホール)、湖上ロープウェイ等が挙げられます。
- ・生産量世界一のものとしては、光電子増倍管が、生産量日本一のものとしては、ピアノ、電子楽器、管楽器、船外機、マーキングペン先が挙げられます。



後半講義の様子

後半は、市の農業について(1)特徴(2)農産物の全国ランキング(3)ブランド農産物(4)農業振興ビジョン(5)6次化の推進(6)農業経営塾(7)三方原用水事業(8)海外販路開拓支援(9)セイバージャパン(農泊食文化海外発信地域)(10)伝えよう!浜松・浜名湖地域のふるりの味、をテーマに。水産業については(1)水産物の資源保護(2)漁港の維持管理。林業については(1)森林について(2)FSC森林認証制度(森林が適切に管理されているか全世界統一の基準に沿って森林管理協議会が審査、認証する制度)(3)林業政策等をテーマに説明を頂きました。

後半で、印象に残った説明を記します。

- ・遠州灘や浜名湖・天竜川に囲まれ、特徴的な地形と土質、全国3位の豊富な日照量の中で、多種多様な農産物・水産物が生産され、首都圏と関西圏のほぼ中間にあり流通の好立地にあることが特徴です。
- ・みかん、チンゲンサイ、ガーベラの所得は、日本で、ブランド品としては三方原馬鈴薯、三ヶ日みかん、お茶、たまねぎ、エシャレット、柿、梨、ピオーネ、うなぎいも(6次産業化)があります。
- ・天竜美林(スギ)は、日本三大人工美林の一つ(他に尾鷲ヒノキ・吉野スギ)で、天竜材を東京オリンピック・パラリンピック関係施設(新国立競技場等)へ供給する政策を進めています。

以上、紙面の関係でポイントのみの記載ですが、はままつ案内人として、産業も含めた全般について説明できるよう、今回の座学を契機に研鑽を積んで参ります。 広報部 植田善和(北ブロック)

事業部主催「夏休み自由研究やらまいか」

今年も恒例の「夏休み自由研究やらまいか」を、小学校3年生から6年生を対象に20名の募集をしたところ17名の児童から応募がありました。猛暑の中、3日間にわたる学習状況を報告します。

【7月29日】1日目 現地学習



東照宮にて手水作法の練習

となつているのか、子供達はその意味合いを理解する努力をしていました。

出発地点に戻った後、事業部長の戸塚正康さんから、「江戸時代には約700社の東照宮が確認されているが、明治維新以降現存する東照宮は約130社とされている。私達は他の文化財施設等を含め、大切に手入れ、維持し、後世に残して行かなければならない」旨の挨拶がありました。

広報部 古本俊夫（南ブロック）

【7月30日】2日目 現地学習

浜松城公園せせらぎの池付近に、12名の児童、6名の保護者、小児2名、当会会員7名が三々五々集まり、本日の学習コースに向けて、9時30分に出発しました。

「浜松市消防局」では、職員により消火器の使い方、口をハンカチで覆い低い姿勢で煙の通路避難体験、台風の強風(26m/秒)体験をしました。次にクイズに取り組み、火事の原因で「2位は焚火です」と聞いて、「焚火ってなに？」との質問があり、今の子どもはほとんど知らない言葉なんだと思いました。仮眠室、消火活動服を見て、最後に消防車の説明を聞いた後、記念写真を撮影して次の「遠州織物会館」へと向かう。ここでは「はままつ繊維の歴史」について、江戸時代の24代浜松城主井上正春が、綿花を栽培する農家の副業として織物を推奨した時代から、ガチャ万景気を経て、現代のファッション産業へと変化した説明がありました。最後の「浜松市防災学習センター」では2班に別れて、知るゾーン、感じるゾーンの順に、女性スタッフの説明を受けた後、当センターで流れ解散となりました。

参加者始め事業部員の皆様、炎暑の中、熱中症に遭遇することなく無事に終えて帰路に就きました。

広報部 小池輝夫（東ブロック）



消防局女性職員の説明

【7月31日】3日目 座学



講習に真剣に取り組む児童

は事業部橋本彰さんが全般的な説明の後に、地元企業のヤマハとヤマハ発動機の社名ロゴマークの違いを図で説明しました。理解しにくいテーマですが児童達は熱心にメモを取っていました。

最後に大村会長から徳川家康についての補足と郷土の歴史を学ぶ心得についての説明がありました。今年の参加者17名のうち全3日間参加した児童は10名でした。感想を聞いたところ2名の児童が「歴史が好きになったから、これから浜松城の子供ガイドをやってみたい！」とうれしい返事がかえってきました。梅雨明けの厳しい暑さの連続3日間でしたが、事故もなく無事終了しました。

広報部 春日康治（西ブロック）

会員の交流広場

一乗谷朝倉氏遺跡を訪ねて

「忘れられた戦国の城下町一乗谷朝倉氏遺跡」を訪ねる機会がありました。

戦国時代に織田・徳川の連合軍によって滅ぼされた、朝倉氏五代が103年間に渡って越前国を支配していた城下町跡が、400年間もの長きに渡って土中に埋もれていましたが、昭和42年(1967年)に発掘が開始され注目されるようになります。

武家屋敷・寺院・町屋や庭園、道路など町並みが完全な姿で復元されていて、武家屋敷からヒョコっとお侍さんが出てきそうな、そんな錯覚を覚えるほどリアルに復元されていました。

朝倉氏五代が、福井平野を一望できる山間の丘陵地帯に、初代朝倉敏景が一乗谷を本拠にして、一大城下町が形成され没落していく過程に大変興味を湧いてきました。

朝倉氏は南北朝時代には既に一乗谷を本拠にして、文明年間(1469~1486年)には、重臣たちも一乗谷に集住するようになります。応仁の乱により荒廃した京から公家や高僧、文人、学者たちが避難して来たため一乗谷は飛躍的に発展し、華やかな京文化が開花し、北の京とも呼ばれる様になりました。四代朝倉孝景の頃から全盛期を迎え、最盛期にはこの狭隘な地形に、人口1万人を超える越前の中心地として栄えるまでになったのです。

応仁の乱以降、五代朝倉義景の代になると最後の足利將軍となる義昭を永禄11年(1568年)に一乗谷に迎えて義昭を歓待しています。日和見主義の義昭は上洛を果たすため、同年に織田信長を頼って美濃国に出国しています。朝倉義景は義昭上洛後、織田信長と決裂し近江の浅井長政と共に反信長の戦いを挑みましたが、天正元年(1573年)に「刀禰坂(とねざか)の戦い」で大敗しました。義景は一乗谷を放棄して大野へ逃れますが、一族の裏切りにあい自害してしまいます。

一乗谷は信長の軍勢によって火が放たれ、朝倉氏の城下町は三日三晩燃え続けた後、地中深く眠りにつき、その栄華の長い歴史を閉じることとなります。

栄枯盛衰の夢の跡をじっくり見学させていただき帰途に就きました。

東ブロック 桶田忠正



復元された武家屋敷

会員の交流広場

～花沢城址と初鯉～

五月の十連休が終わって間もなく、テレビでカツオの水揚げ高日本一の焼津のニュースが飛び込んで来た。「そうだ 初鯉を喰いに焼津へ行こう!!」取るものも取りあえず、我が家を飛び出す。

東名で焼津に降り立ったが昼食にはまだ早い。何処か時間をつぶすに良いところは・・・ここ焼津には山城の花沢(はなざわ)城があったことを思い出す。ここからは近いはず。何分掛かるか分からないが、初めて訪れる城だ。取りあえず行ってみよう。

花沢城は高草山の山麓にあり、戦国時代に今川氏により駿府の西方防備のため築城された山城です。元亀元年(1570年)武田軍が日本坂峠を越え花沢城に押し寄せ、激戦が10日余り続いたが、ついに今川軍は力尽き降伏した。武田氏が占拠した花沢城は廃城となり、この城の歴史の幕を閉じた。



花沢城址一ノ曲輪跡

花沢の里入口にある駐車場で車を止め、花沢城址を目指し歩き始める。舗装されたグラグラ坂を歩をゆるめながら進む。この道が万葉の昔の東海道で「焼津辺(やきつべ)の径」と歌に詠まれた古道なのか!花沢城址への山道へ取り掛かる。丸太で補修された道を一步一步上る。足元には赤い実を付けた野イチゴがその姿をのぞかせる。

程なく本丸跡に到着する。そこには「花沢城址」と書かれた石碑と朱塗りの鳥居と祠があるだけ。遠く下界を見れば、藤枝か島田の町並みが春霞でぼんやり見える。駿河湾からの風が頬をなぞる。ここで握り飯を喰ったら旨いだろう。そうだ!今日はカツオを喰いに焼津に来たのだ!!

港に近いカツオの旨い食堂を訪ねる。どうも変だ、人影が少ない。乾物の店は開いているが食堂は定休日だという。紹介された寿司屋へ急行すると・・・無情にも臨時休業の札が揺れている。それならばと「さかなセンター」に向かう。ガーン!門扉が閉じられている。とどのつまりは回転寿司で腹を満たす結果となる。回転寿司を喰うために、わざわざ焼津まで行ったのか!!

中ブロック 清水正之

新入会員の入会動機

一昨年、女城主「直虎」の観光ボランティアガイドに応募して、多くの人と出会うことが出来ました。経験がなかったので説明できるか心配でしたが、その場所に行くと言葉が出てくるので、月2～3回の案内を1年間続けることが出来ました。又、今まで旅行先で、度々現地観光ガイドの方に案内をしていただき、楽しい旅行が出来たこともあり、私自身が浜松の観光ガイドになり、浜松を伝えたいとの思いがありました。

今回、6回の入会前の研修会では初めて聞く事も多くあったので、実際に出掛けて確かめ、自分なりの説明が出来るようにストーリーを作ってみたい。

子供の団体も多く来るとお聞きしたので、子供に伝える方法も学びたい。様々な団体で訪れる方々に、「浜松へもう一度来てみたい」と思っていたいただけるような案内が出来るよう、先輩の方々を見習いながら、応対方法を身につけたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。北ブロック 飯田明良

7月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体

* クラブツーリズム	4回	122名
* オイスカ開発教育専門学校	2回	57名
1日 月 藤沢区長会		55名
2日 火 河輪小学校		35名
阿多古小学校		18名
平山小学校		15名
磐田市立長野小学校		73名
3日 水 浜松市企画調整部国際課		28名
福寿会		19名
4日 木 井伊谷小学校		59名
5日 金 砂丘小学校		31名
浜松市現地説明会		13名
6日 土 JTB		19名
台湾団体		29名
7日 日 岡崎交通社役員研修会		29名
8日 月 東金市倫理法人会		19名
10日 水 小田原市自治会総連合会		25名
岐阜乗合自動車㈱		16名
11日 木 海老名市倉庫組合		21名
12日 金 滋賀県巻友会		10名
13日 土 松城幼稚園		20名
14日 日 NPO法人フリースペース・うえるびー		27名
16日 火 飯田小学校		127名

16日 火 五月会 (さつきかい)	10名
18日 木 和田小学校	123名
津島市民生・児童委員協議会	19名
19日 金 和田東小学校	70名
20日 土 北新小学校職員旅行	13名
23日 火 ダイワロイヤルホテルTHE HAMANAKO	15名
26日 金 小豆餅ゆすらうめこども園	23名
27日 土 チザキ48会	17名
川崎ロッキーズ	30名
28日 日 M5110	37名
北浜東部中学校	20名
29日 月 夏休みに自由研究やらまいか	18名
* 上記以外に9名以下の4団体	27名

《犀ヶ崖資料館》

4日 木 井伊谷小学校	59名
5日 金 砂丘小学校	31名
7日 日 日経カルチャー	25名
9日 火 掛川第一地区まちづくり協議会	20名
クラブツーリズム	40名
16日 火 飯田小学校	88名

《浜松まつり会館》

* 日曜対応 (7、14、21、28日) 294名

はままつ案内人会報 209号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索

